



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 岡田 夏至 (TEL) 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,113	3.1	157	155.3	181	96.1	110	236.5
2023年3月期第1四半期	4,958	5.5	61	△56.3	92	△39.9	32	△52.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 128百万円(114.2%) 2023年3月期第1四半期 59百万円(△16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	8.23	—
2023年3月期第1四半期	2.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,980	6,309	69.7
2023年3月期	8,903	6,315	70.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,263百万円 2023年3月期 6,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,500	△3.7	210	42.8	230	17.9	147	64.9	10.92
通期	19,100	△3.2	385	15.5	427	10.6	264	29.2	19.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	15,145,175株	2023年3月期	15,145,175株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,680,693株	2023年3月期	1,680,613株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	13,464,540株	2023年3月期1Q	13,464,561株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び実績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策での規制緩和などにより緩やかな回復基調にあるものの、外国為替相場における急激な円安、エネルギー価格や原材料費の高止まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループの状況につきましては、世界的な脱コロナへの動きを受けた回復需要を取り込んだアスモトレーディング事業、及び給食需要の回復を受けたアスモフードサービス事業では好調に推移いたしました。高年齢施設の入居率や介護サービス利用者数の回復に時間を要しているアスモ介護サービス事業、食品加工販売部門が順調に売上を拡大する一方で店舗部門の業績が本格的な回復基調には転じていないASMO CATERING (HK) 事業においては引き続き慎重な事業運営が求められています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,113百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益157百万円（前年同四半期比155.3%増）、経常利益181百万円（前年同四半期比96.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、110百万円（前年同四半期比236.5%増）となりました。

売上高の増加は、アスモトレーディング事業およびアスモフードサービス事業におけるコロナ禍で低迷していた業績の回復によるものであります。営業利益、経常利益の改善は、アスモトレーディング事業における高付加価値商品の取扱い量増加、アスモフードサービス事業における給食提供数の増加や受託先施設に対する売上単価値上げ交渉の成果によるもの、また各セグメントで増幅していた衛生関連費用の縮小によるものであります。今後におきましては、各事業の状況に応じて売上高の拡大や利益率の改善を推し進めることで、業績の向上に向けグループ一丸となって邁進してまいります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸入、食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営、食品加工販売
その他	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED) 台湾における外食店舗の運営 ※事業を休止中

アスモトレーディング事業

食肉市場では、世界情勢の不安に起因した燃料価格の高騰に加え、輸送費や穀物飼料価格の高止まりが続いた結果、アメリカやオーストラリア等の輸入牛肉の供給が不安定となりました。国内では、記録的な円安の長期化により食肉価格の高騰が続くなど、事業を取り巻く環境は依然として不透明であります。主力商品であるメキシコ産牛肉を現地から安定的に購買できる強みや価格面での優位性を活かして外食需要を取り込むことに成功いたしました。また、インバウンド需要が増えたことと、社会経済活動の正常化を受けたゴールデンウィーク需要を追い風として販売が好調に推移しました。また、国内通販事業部門においても消費活動の活性化に応える形での新商品開発に注力した結果、業績は堅調に推移いたしました。一方で、費用面に関しては人件費の高騰に加え、原油価格の上昇による光熱費、配送費や保管料といった経費の増加傾向は引き続きしておりますが、先に述べた販売機会の拡大により営業利益を確保することができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,193百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント利益（営業利益）は37百万円（前年同四半期比34.7%増）となりました。

今後におきましては、長引く円安基調とさらなる物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりなど、足元で

は不透明な状況が続きますが、お客様へ安定的な商品の供給を継続すると共に、販路拡大と業績の向上に専念してまいります。

アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、主要マーケットである高齢者施設の利用者様数において新型コロナウイルス感染症がまん延する以前の水準への回復に時間を要しておりましたが、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、新規開拓営業活動の機会が増えたため、給食受託施設数、及び給食提供数が増加いたしました。また、2020年より控えておりました洋菓子講習会の実施や対面による研修の再開等、従業員の知識や技能習得に関しても意欲的に取り込むことができる環境に戻りつつあります。一方、費用面では引き続き物価高騰の影響が続くなか、人員不足も深刻化しており、原材料費・人件費の増加が利益を押し下げる要因となっておりますが、仕入れ先の見直しや献立を工夫することで原材料費を抑え、従業員の勤務シフト体制の見直しを図ることで人件費を削減し、受託先施設に対しては食材費値上げの働きかけをおこなうことで利益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,916百万円（前年同四半期比2.1%増）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同四半期比52.7%増）となりました。

引き続き、経費管理に注力し、営業活動に取り組むことで収益力の向上に努めてまいります。

アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、有料老人ホーム運営事業、および介護タクシー事業を営んでおります。介護業界全体として、新型コロナウイルス感染症の影響は低減いたしました。長引く物価高騰下における経費及び人件費の上昇に、引き続き足元・先行きとも厳しい状況にあります。そのような状況の中、5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、施設への入館規制を緩和し、ご入居の促進に注力したことにより、有料老人ホームの入居率は緩やかながら回復傾向となりました。また介護の現場においては感染症対策の徹底を図り、ご利用者様の日々の安心と安全をお守りする事に努めることで、介護サービスの提供機会を増やしてまいりました。

これにより当第1四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所36事業所（前年同期末は36事業所）、居宅介護支援事業所12事業所（前年同期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご利用者様（※）は1,909名（前年同四半期末は1,850名）となりました。また、有料老人ホーム7施設（前年同四半期末は7施設）のご入居者は340名（前年同四半期末は317名）となりました。（※）介護タクシーでの介護保険利用者を除く

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,394百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益（営業利益）は116百万円（前年同四半期比238.7%増）となりました。

今後におきましては、業績の回復を目指し、職員の定着率向上に向けた取り組みと積極的な新規採用により十分な職員数を確保していることを強みとして、介護サービス提供の強化と、介護サービスの更なる質の向上を図ってまいります。

ASMO CATERING (HK) 事業

香港では、ゼロコロナ政策の緩和により2023年2月に香港と中国本土の間の往来が正常化され、景気の急回復が期待されておりましたが、往来の正常化後、香港から中国本土や海外に越境して消費を楽しむ香港人が急増し、中国本土からの香港入境者数をはるかに上回る状況となったことや、観光客がかつてのような買い物一辺倒の行動パターンから変化していることを背景として、景気の回復は極めて緩やかな状況にあります。そのような状況の中で店舗部門の業績は回復に時間を要しており、先行きは依然不透明な状況にあります。一方で、食品加工販売部門においては、当第1四半期連結累計期間においても順調に売上を拡大してきており、セグメント売上全体の約42%を占めるに至りました。今後も顧客となる日系プロバイダーによる出店も多数計画されており、マーケットの拡大が期待されます。利益面では、新型コロナウイルス感染症に関する政府からの助成金が前連結会計年度で終了したため、前第1四半期連結累計期間に比べて減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、607百万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント損失（営業損失）は10百万円（前年同四半期はセグメント利益5百万円）となりました。

インバウンド需要に頼る割合が高い香港の小売業、飲食業ですが、店舗部門、食品加工販売部門のバランスを

見極め、効率的な収益体制の確立に取り組んでまいります。

その他の事業

その他セグメントに含まれておりますASMO CARTERING (TAIWAN) COMPANY LIMITEDは2019年3月を期末とする連結会計年度以降、事業を休止しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は0百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が14百万円、受取手形及び売掛金が42百万円、商品が34百万円、未収入金が16百万円、差入保証金が23百万円増加し、繰延税金資産が57百万円減少し、貸倒引当金が10百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は2,671百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が27百万円、短期借入金が82百万円、未払金が132百万円、未払消費税等が46百万円、仮受金が19百万円増加し、賞与引当金が103百万円、未払法人税等が112百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,309百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が23百万円減少し、為替換算調整勘定が13百万円、非支配株主持分が4百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.7%(前連結会計年度末は70.5%)となりました。

過去の実績では、第1四半期連結累計期間において納税、賞与、配当等の支払いにより前連結会計年度末から現金及び預金が減少するケースが多くなっておりませんが、当第1四半期連結累計期間においては利益の改善によって前述の減少分を補う形となり、前連結会計年度末に比べて現金及び預金が増加いたしました。

資本の財源につきましては、当社グループの運転資金・設備投資について、一部連結子会社で一時的な借入を行うことがあります。基本的には自己資金により充当しております。当第1四半期連結会計期間末の有利子負債残高は、短期借入金96百万円とリース債務95百万円の合計192百万円であり、前連結会計年度末と比較して73百万円増加しております。

現金及び預金の当第1四半期連結会計期間末残高は5,103百万円であり、資金の流動性は十分に確保できており、小規模ベースのM&Aや隣接事業への拡大についても対応できる水準であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,088,644	5,103,545
受取手形及び売掛金	2,026,459	2,068,655
商品	388,332	422,855
貯蔵品	13,895	13,708
その他	272,300	293,723
貸倒引当金	△795	△999
流動資産合計	7,788,836	7,901,489
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	192,850	197,765
有形固定資産合計	192,850	197,765
無形固定資産		
その他	11,467	9,486
無形固定資産合計	11,467	9,486
投資その他の資産		
その他	1,447,954	1,420,530
貸倒引当金	△537,626	△548,304
投資その他の資産合計	910,328	872,226
固定資産合計	1,114,647	1,079,478
資産合計	8,903,483	8,980,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	653,728	680,997
短期借入金	14,570	96,616
未払法人税等	129,497	16,918
賞与引当金	216,040	112,981
その他	1,258,654	1,456,456
流動負債合計	2,272,490	2,363,970
固定負債		
退職給付に係る負債	253,806	253,257
その他	61,379	54,140
固定負債合計	315,186	307,397
負債合計	2,587,676	2,671,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	4,150,346	4,126,484
自己株式	△340,870	△340,899
株主資本合計	6,132,748	6,108,857
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△474	895
為替換算調整勘定	137,447	151,412
退職給付に係る調整累計額	3,844	1,885
その他の包括利益累計額合計	140,817	154,194
非支配株主持分	42,241	46,547
純資産合計	6,315,806	6,309,599
負債純資産合計	8,903,483	8,980,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	4,958,999	5,113,102
売上原価	4,100,980	4,106,869
売上総利益	858,019	1,006,233
販売費及び一般管理費	796,240	848,538
営業利益	61,779	157,694
営業外収益		
受取利息	1,926	1,809
為替差益	20,353	17,227
助成金収入	13,123	7,273
その他	525	592
営業外収益合計	35,928	26,902
営業外費用		
支払利息	834	594
貸倒引当金繰入額	4,521	2,864
その他	21	37
営業外費用合計	5,377	3,496
経常利益	92,330	181,100
特別利益		
関係会社株式売却益	26,266	—
特別利益合計	26,266	—
税金等調整前四半期純利益	118,596	181,100
法人税、住民税及び事業税	31,960	14,203
法人税等調整額	47,050	55,631
法人税等合計	79,010	69,835
四半期純利益	39,586	111,265
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,660	481
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,926	110,783

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	39,586	111,265
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△258	1,370
為替換算調整勘定	20,048	17,789
退職給付に係る調整額	603	△1,958
その他の包括利益合計	20,392	17,201
四半期包括利益	59,979	128,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,008	124,160
非支配株主に係る四半期包括利益	10,970	4,306

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモレ ーディング 事業	アスモフ ードサー ビス事 業	アスモ介 護サ ービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	1,194	1,139,249	1,877,347	1,393,308	547,900	4,958,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	8,804	61,316	—	—	70,120
計	1,194	1,148,053	1,938,664	1,393,308	547,900	5,029,120
セグメント利益又は損失(△)	△55,303	27,892	49,238	34,336	5,711	61,876

(単位:千円)

	その他 (注)1、2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	4,958,999	—	4,958,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	70,120	△70,120	—
計	—	5,029,120	△70,120	4,958,999
セグメント利益又は損失(△)	△111	61,764	14	61,779

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント(ASMO CATERING (TAIWAN)事業)であり、現在当該事業を休止しております。

(注) 2 「その他」を形成していた連結子会社サーバントラスト信託株式会社の管理型信託事業について、当社が保有する同社の全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	61,876
「その他」の区分の損失(△)	△111
セグメント間取引消去	14
四半期連結損益計算書の営業利益	61,779

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	1,194	1,193,331	1,916,645	1,394,089	607,841	5,113,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,453	65,867	—	—	81,320
計	1,194	1,208,785	1,982,512	1,394,089	607,841	5,194,423
セグメント利益又は損失(△)	△60,456	37,578	75,193	116,300	△10,858	157,757

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	5,113,102	—	5,113,102
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	81,320	△81,320	—
計	—	5,194,423	△81,320	5,113,102
セグメント利益又は損失(△)	△113	157,643	50	157,694

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント(ASMO CATERING (TAIWAN) 事業)であり、現在当該事業を休止しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	157,757
「その他」の区分の損失(△)	△113
セグメント間取引消去	50
四半期連結損益計算書の営業利益	157,694

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社の売上高は、主に顧客との契約から認識された収益であり、当社の報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第1四半期累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
食肉販売	—	1,032,769	—	—	—	1,032,769
加工商品の販売	—	106,479	—	—	—	106,479
給食提供サービス	—	—	1,877,347	—	—	1,877,347
介護サービス	—	—	—	1,182,131	—	1,182,131
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	91,187	—	91,187
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	366,762	366,762
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	169,761	169,761
その他	—	—	—	37,621	11,376	48,998
顧客との契約から生じる収益	—	1,139,249	1,877,347	1,310,940	547,900	4,875,437
その他の収益	1,194	—	—	82,367	—	83,562
外部顧客への売上高	1,194	1,139,249	1,877,347	1,393,308	547,900	4,958,999

当第1四半期累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
食肉販売	—	1,124,937	—	—	—	1,124,937
加工商品の販売	—	68,393	—	—	—	68,393
給食提供サービス	—	—	1,916,645	—	—	1,916,645
介護サービス	—	—	—	1,180,692	—	1,180,692
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	93,993	—	93,993
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	340,004	340,004
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	257,174	257,174
その他	—	—	—	30,504	10,662	41,166
顧客との契約から生じる収益	—	1,193,331	1,916,645	1,305,190	607,841	5,023,008
その他の収益	1,194	—	—	88,898	—	90,093
外部顧客への売上高	1,194	1,193,331	1,916,645	1,394,089	607,841	5,113,102